

市政記者各位

令和4年12月27日

経済記者各位

公益財団法人九州先端科学技術研究所

九州大学 - 九州先端科学技術研究所 (ISIT) - 福岡市 連携

グリーントランスフォーメーション (GX) シンポジウム

～福岡発 脱炭素をビジネスに！～

九州先端科学技術研究所 (ISIT) は、このたび「九州大学エネルギーウィーク 2023」に合わせ、九州大学及び福岡市と連携して、グリーントランスフォーメーションに関するシンポジウムを開催いたします。

世界的にも注目されている脱炭素、カーボンニュートラルに関する最新の情勢や、トヨタ自動車九州の取組み事例について講演を行います。また、福岡市内企業の脱炭素ビジネス先行事例の紹介などもあわせて実施いたします。

つきましては、当該催事の告知につき協力をお願いするとともに、取材*について御案内申し上げます。

■日時 令和5年2月1日(水) 14:00～16:00 (受付開始 13:30～)

■場所 会場:アクロス福岡7階 大会議室 (福岡市中央区天神1-1-1)

(現地開催のみでオンラインでの実施はありません。)

■プログラム [詳細は2～3ページ目\(チラシ\)](#) をご参照ください。

基調講演① 九州大学 グローバルイノベーションセンター 准教授 早淵 百合子 氏
「温室効果ガス排出量の算定方法論－排出量の削減とは？－」

基調講演② トヨタ自動車九州株式会社 環境プラント部 部長 弥永 明彦 氏
「トヨタ九州におけるカーボンニュートラルの目標とアクション」

事業紹介 「福岡市・九州先端科学技術研究所 (ISIT) による市内企業の脱炭素ビジネスへの取組み支援」

「福岡グリーンイノベーションチャレンジ事業採択企業の脱炭素ビジネス事例報告」

(登壇予定企業) アークエルテクノロジーズ株式会社

オングリットホールディングス株式会社

株式会社日本炭素循環ラボ

(順番調整中)

※取材を御希望の方は、事前に下記へ御連絡をお願いします。

公益財団法人 九州先端科学技術研究所 グリーンイノベーション担当

TEL 092-852-3460 FAX 092-852-3455 担当 大場、谷 E-mail green@isit.or.jp

九州大学-九州先端科学技術研究所(ISIT)-福岡市 連携グリーントランスフォーメーション(GX)シンポジウム ～福岡発 脱炭素をビジネスに！～

九州大学エネルギーウィークにあわせ、世界的にも注目されている脱炭素、カーボンニュートラルに関する最新の情勢やトヨタ自動車九州の取組み事例について講演を行います。また、福岡市内企業の脱炭素ビジネス先行事例の紹介なども行います。



日時 2023年2月1日(水) 14:00～16:00
(受付開始13:30)

■会場 アクロス福岡 7階 大会議室 ■対象 どなたでも参加できます

■定員 100名 (申込先着) 参加費：無料

■申込方法 下記URLか二次元コードより参加登録ください。

(申込先) <https://q-pit-ew.kyushu-u.ac.jp/ja/program>

※参加登録：2023年1月4日(水) から開始します

「九州大学エネルギーウィーク2023」ホームページからのお申し込みとなります



【シンポジウムプログラム】

- 14:00 開会挨拶 公益財団法人九州先端科学技術研究所 所長 山田 淳
国立大学法人九州大学 理事・副学長 久枝 良雄
- 14:10～14:50 基調講演①「温室効果ガス排出量の算定方法論ー排出量の削減とは？ー」
九州大学 グローバルイノベーションセンター 准教授 早瀬 百合子 氏
- 14:50～15:30 基調講演②「トヨタ九州におけるカーボンニュートラルの目標とアクション」
トヨタ自動車九州株式会社 環境プラント部部长 弥永 明彦 氏
- 15:30～16:00 福岡市・九州先端科学技術研究所 (ISIT) による市内企業の脱炭素
ビジネスへの取組み支援
福岡グリーンイノベーションチャレンジ事業採択企業の脱炭素ビジネス事例報告
- 16:00 閉会挨拶 福岡市経済観光文化局創業・立地推進部長 堀 浩信

【お問い合わせ先 (シンポジウム事務局)】

公益財団法人九州先端科学技術研究所 GXシンポジウム担当

TEL 092-852-3460 FAX 092-852-3455 E-mail green@isit.or.jp

主催 公益財団法人九州先端科学技術研究所 国立大学法人九州大学 福岡市

基調講演①「温室効果ガス排出量の算定方法論－排出量の削減とは？－」

京都議定書からパリ協定へ移行し、脱炭素社会の実現に向けて、温室効果ガス排出量の削減とカーボンニュートラル達成は不可欠です。温室効果ガス排出量は気候変動における政策や企業戦略評価の基本データであり、経済性とも密接に関連します。国際社会では温室効果ガス排出量はどのように算定されて、その削減評価はどのようなものか、国際枠組みにおける交渉経緯から算定方法とその審査、国際的課題について展望します。

早渕 百合子 氏

所属：九州大学 グローバルイノベーションセンター 准教授
(兼担) 大学院 芸術工学府芸術工学専攻 環境設計コース
(兼担) 洋上風力研究教育センター 脱炭素エネルギーマネジメント研究部門

【講師プロフィール】

京都大学大学院エネルギー科学研究科博士課程修了。京都大学エネルギー理工学研究所、国立環境研究所を経て、2013年より現職。国連気候変動枠組条約下での排出量審査官。日本国の京都議定書温室効果ガス排出量の算定に従事し、国連気候変動枠組条約締約国会合（COP）での交渉経験を持つ。排出量算定と環境政策評価を専門とする。



基調講演②「トヨタ九州におけるカーボンニュートラルの目標とアクション」

トヨタ自動車九州のカーボンニュートラルの取組について、基となるトヨタ自動車のトヨタ環境チャレンジ2050の6つのチャレンジを紹介させていただいた上で、トヨタ自動車九州の基本的な取組の考え方とロードマップのご紹介をいたします。その各種取組について、生産設備の改善事例、日常改善の事例、再生可能エネルギーの導入事例と水素の取組もご紹介させていただきます。皆様のカーボンニュートラルの取組の一助になれば幸いです。

弥永 明彦 氏

(トヨタ自動車九州株式会社 環境プラント部部长)

【講師プロフィール】

1991年 4月 トヨタ自動車入社
1991年 10月 プラントエンジニアリング部配属
国内外の施設設備計画、工場建設PJ、生産技術開発など
2003年 11月 中国豊田技術中心（天津） 出向
2006年 6月 トヨタ自動車 プラントエンジニアリング部、生技管理部
海外の工場建設PJの企画、PJ推進
2015年 4月 北米トヨタ出向。プラント環境生技部シニアアドバイザー
北米の生産環境、工場建設、原動力全般
2019年 1月 トヨタ自動車九州出向。環境プラント部部长（現在に至る）



シンポジウム会場へのアクセス

アクロス福岡

福岡市中央区天神1丁目1番1号

- 福岡空港から天神まで地下鉄空港線で11分
- JR博多駅から天神まで地下鉄空港線で5分
- 西鉄福岡天神駅から徒歩10分
- 地下鉄空港線天神駅から徒歩5分(16番出口直結)
- 地下鉄七隈線天神南駅から徒歩7分(5番出口)
- バス停アクロス福岡・水鏡天満宮前から徒歩0分
- 天神4丁目から徒歩3分
- 天神中央郵便局前から徒歩5分

